

科学技術人材多様化ワーキング・グループの主な論点・検討課題

技術者及び研究開発マネジメント人材の育成について

（1）技術者の育成について

- ① 大学・大学院及び高等専門学校における工学系教育の充実・強化
 - ・ 技術者養成のための実践教育の強化、産学連携への早期参画促進
 - ・ 博士課程学生に対する、企業からのニーズを踏まえた研究や実践の場の提供
 - ・ 日本技術者教育認定機構（JABEE）による、認定の認知度向上、手続きの簡素化
- ② 産学で活躍する優れた技術者の確保・活躍促進
 - （i）大学・企業等における技術者の育成・確保
 - ・ 大学等と企業との共同研究、クロスアポイントメント制度等の活用促進
 - ・ 技術者・技術職員の育成・確保の観点からの、先端研究設備・機器等の開発・整備支援
 - （ii）大学等における技術職員の育成・確保
 - ・ 「技術職員に関する人事制度等のガイドライン」の策定
 - ・ 技術者・技術職員の育成・確保の観点からの、先端研究設備・機器等の開発・整備支援（再掲）
 - ・ 産学連携で推進する研究開発事業への技術職員の参画促進
- ③ 技術士制度の活用促進
 - ・ 技術士制度の周知・活用に向けた取組の推進
 - ・ IPD システムの活用から技術士資格の取得、資格取得後の CPD 活動までの一貫した整合性あるシステムの構築・改善

（2）研究開発マネジメント人材の育成について

- ① 研究開発マネジメント人材の位置付け・役割の明確化
 - ・ 博士後期課程学生の魅力的なキャリアパスの一つとして位置づけられるよう、処遇や社会的地位の向上
 - ・ コア業務構造の策定による、研究開発マネジメント人材の業務としての「大学・組織マネジメント」の位置づけ
 - ・ 優れた研究開発マネジメント人材のテニユア化促進
 - ・ 様々なバックグラウンドの人材を確保するための柔軟な人事制度の構築・安定財源の創出
- ② 研究開発マネジメント人材の育成・確保・活躍促進
 - ・ 基礎力育成研修（JST）や外部団体の実施する専門能力育成研修の活用促進
 - ・ 先進的な研究大学の人材育成機能を活用した OJT 研修の推進
 - ・ 経営層等までの職階の設定による、組織運営に携わっていく人材としての育成・活躍促進
 - ・ 研究開発マネジメント人材の表彰制度の活用促進